

GLOBAL MIND

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION



写真上：1日の作業を終え撤収する学生たち 写真下：津波被害にあった漁協の重要書類の汚れを落とし、整理した

「現実の被災地」を前に言葉を使い、ただ必死でがれきり運び続けた（釜石市）

企 画 GLOBAL VISION グローバルビジョン

「今は行動するじき」 被災地でボランティア活動する学生たち

東日本大震災の被災地で本学の学生らが、9月から2回に分けてボランティア活動を展開した。「何ができるか分からないが、今は行動するじき」という学生の提案で始まったボランティア派遣について報告する。

学生たちから出された企画書を学内で検討し、ボランティア学生を募集し被災地へ派遣することを決定。8月から募集したボランティア登録学生は117名におよび、第1回派遣（9月3日～7日）では37人、第2回派遣（10月31日～11月5日）では47人、延べ84人の学生が被災地に赴いた。教職員を加えた派遣団は大型バスで1千キロ、約14時間をかけて被災地へ到着。岩手県遠野市災害ボランティアセンター（遠野まごころネット）を拠点とし、毎朝、沿岸部の陸前高田市や釜石市、大槌町に移動して活動を行った。

がれき撤去や側溝清掃、干し柿作りも

被災地での活動内容は、一般家屋跡や水産加工場跡のがれき撤去、生活道路の側溝清掃といった「ちから仕事」もあれば、仮設住宅入居者の方々の干し柿作りなど「心のケア」の要素を含んだものもあった。町が壊滅的被害を受けた釜石市箱崎町では、家屋跡地に粉々に散乱している生活用品の撤去作業を担当。泥まみれの子供服や玩具、写真の回収、整理作業も含まれた。全長40メートルもある大型漁船が陸に打ち上げられている大槌町では道路の側溝清掃を担当。黒い土砂をかき出す力作業を黙々と行った。また、「大槌町まごころの郷」では被災された方々の憩いの場となるウッドデッキを作成したりもした。

言葉を失う、そして動き出す

現実の被災地に入った学生たちはみんな言葉を失った。3月11日以来あれだけテレビや新聞で目にしてきた被災地とは違う「現実の被災地」がそこに

あったからだ。映像にあった打ち上げられた漁船や跡形もない家屋、想像でしかない高さまで被害を受けたマンションからは、そこで息づいた人々の想いまでもが感じられた。だからこそ一生懸命、いや必死になって彼らは活動した。休憩しようだとか、少し楽をしようとする学生は誰一人いなかった。そんな彼らに被災地の方々は何度も声をかけてくださった。「もう住めないから、この家の壁を壊してしまっしてほしい」。震災前は家族と楽しく暮らしたであろう家の一部を、学生たちの手で片づけることとなった。作業後に何人も何度も聞いた「ありがとう」の言葉。涙があふれそうになった。胸に迫るその感覚は、言葉でどう表現していいのかわからなかった。後日、彼らはそう語ってくれた。

学生の想い

「普段使う『ありがとう』という言葉は、大阪と被災地では違う」
「今、自分が置かれている環境がいかに恵まれているか感じるようになった」
「この体験を多くの人々に伝えて、ボランティアへの参加を呼びかけたい」

秋の祭典 大学祭、文化祭

心をひらいて 仲間と楽しむ

9月から10月にかけて、学園の各学校では、大学祭、文化祭が開催された。普段とは違った表情を見せる学生・生徒たち。仲間と一緒に、今しかできないことに一生懸命取り組む姿は、キャンパスに活力を吹き込み、一層の輝きを与えてくれた。

「青春はプライスレス（今しかできない経験）」
滝井高校では、今年度より「滝井フェスタ」と名称を改め、「コーラス大会」（9月16日）「舞台発表・作品展示・模擬店出店」（9月18日）「体育大会」（9月27日）の3部構成で秋の行事に全力で取り組んだ。（その他の様子は8面「イベント写真館」で紹介）



校庭に作られたステージで熱唱する生徒たち（9月18日）

「震災から8カ月経過しても仮設住宅入居の方々は依然として厳しい状況に置かれている」
「清掃した家屋跡を住んでいた方々に見ていただき、再建の希望を抱いてもいい」
「ボランティア活動は誰からか評価されるべきものではない。自分自身の気持ちの中で完結して次のボランティアに参加すること。それを自己完結と考えるようになった」
「被災地の方々にいただいた『ありがとう』の言葉、伝えたいのは自分の方だった」

活動を終えて、報告会で聴く学生たちの言葉に、私たちは驚きと感動を覚えるとともに、この学生たちの経験、言葉を次の学生に繋げていかなければならないと改めて感じている。

最初、参加する動機は「困った人たちを助けたい」という単純なものだったかも知れない。しかし、学生たちは被災現場に身を置いたことで、現代社会が抱える課題を自分のものとして置き換え、対策を考え抜き、そして行動に移した。このプロセスは、彼らがこれから社会で活躍するための大きな経験となったに違いない。

「故郷（ふるさと）」という歌がある。「鬼追いしかの山 小鮒釣りの川」。そのような情景はとくにこの世から姿を消したが、今も世代を超えて多くの人に歌い継がれている。

なぜなのだろうか。そうした体験への憧れなのか。自ら体感したことは、心を揺さぶる。

「僕たちが今できることは何か？これからすべきことは何か？」。東日本大震災で被災した岩手県にボランティアで行った本学の学生たちが、目で見、話を聞き、全身で感じたことを報告してくれた。彼らが行く前とあとでは、考え方も行動もきつと大きく変化しているはずだ。

学生の間に、できるだけでなく、色々なことを体験してほしい。そして5つの感覚を研ぎ澄ましてほしい。日本がかつてない困難に直面した2011年も過ぎていく。被災地では、多くの人の心を震わせた情景がほとんど消えてしまった。それを取り戻すことができるのか。先の学生は「前よりいい町にしてやる」と力を込めて言った。被災地に「故郷」が、出来るだけ早く蘇ることを願ってやまない。

CONTENTS

- 2面 国際交流／地域連携
- 3面 活躍名鑑
- 4・5面 教学ニュース
- 6面 入試トピックス
- 7面 就職トピックス
- 8面 学園あらかると「ひと」39歳でビジョンメガネ社長に就任した安東 晃一さん



独 白
大阪国際学園
理事長 奥田吾朗

故郷を取り戻す

国際大からカナダの北ブリティッシュ・コロンビア大学に派遣されて、気づいたらもう2カ月ほどたちました。現地に到着して最初の2週間は、生活に慣れることや、授業についていくこと、友達を作ることなど、毎日忙しく本当に大変でした。

1カ月ぐらいたってからはこちらの生活にも少し慣れ、友達もたくさんできました。英語力

姜 銀(きょうぎん)さん
 大学ビジネス学部経営デザイン学科 3年次生・中国出身
 北ブリティッシュ・コロンビア大学
 (協定校、カナダ・プリンスジョージ)に派遣留学中

奥田政三教育・研究基金 来京へはばたく奨学生

が伸びてきているのを毎日実感しています。

カナダでの生活は充実しています。時間がたつのが早く早いです。このチャンスをきつかけに自分の夢に近づきたいと思っています。

深江 可那子さん
 滝井高校1年生

私が台湾の長栄大学で学んだことの一つ目は、中国語です。台湾の中国語は漢字を省略しないで書くので画数が非常に多く、とても分かりづらいのが今も印象に残っています。でも改めて基本から教えてもらい、今まで勉強してきた中国語や台湾に来てから教えてもらった中国語を使って、現地の人と会話をしたり、お店の人に値段の交渉(左)をしたり、自分にとってプラスになることばかりでした。

二つ目は、ホームステイ先の家族のことです。ホームステイ先の方は日本語観光の先生で、日本語がとても上手で話しやすく明るい性格の方でした。ホームステイに行ったその日の夜に台南市で一番大きいと聞いた「花園夜市」に連れていってもらい



積極的な学習態度に驚く

交換留学生としてカナダで学ぶ機会をいただき、ありがとうございます。

ホストファミリーのスマイルには、家族の一員同様に受け入れていただき、日常の細かい

ことから優しく教えていただきました。

学校では、生徒自身が授業を選択し、積極的に学習する様子を見て驚きました。日本と異なる文化に触れ、多くの人々との出会いができた6週間は、私の貴重な経験となりました。

この経験をこれからの私の人生に活かしていきたいと思

ことから優しく教えていただきました。

学校では、生徒自身が授業を選択し、積極的に学習する様子を見て驚きました。日本と異なる文化に触れ、多くの人々との出会いができた6週間は、私の貴重な経験となりました。

この経験をこれからの私の人生に活かしていきたいと思

夏期台湾研修で学んだことへ 研修と留学で夢実現へ

黒田 美恵 大学国際コミュニケーション学部 国際コミュニケーション学科1年次生

ました。そこは沢山のB級グルメの屋台が並んでいて、その近くに服や雑貨などを売っている店が、屋台形式になっていたりしてとても興味深かったです。

全部見て回れないくらい広く、人も沢山の週末でも暑かったです。その夜の夜市で台湾にしかないフルーツを食べました。そのフルーツの名前は日本語にはないらしく名前が分からないのですが、なんとも言えない味がしたので覚えています。

1泊2日でも短い間だったけど本当の家族のように接してくれて今でも感謝しています。

私にとって、この台湾研修はここには書ききれないほど学んだと思っています。この研修を生かして次は中国に留学したいと考えています。研修と留学を重ねて、私は将来の夢を実現させたいと思っています。

(8月27日から9月9日、台湾・長栄大学中国語研修に参加)

自然の中で楽しく交流 留学生ら、食べて歓談… 野外センター

10月8日の日曜日、国際大の34人の留学生と一般学生が里山の雰囲気いっぱいの枚方市穂谷バス停に集合し、野外活動センターへ向かいました。まだ紅葉はありませんでしたが、自然の空気を吸い、おしゃべりをしながら目的地に到着。

バーベキューや天ぷらの食材の準備から食事・後片付けまで、ワイワイ賑やかに留学生と

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。

また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。

また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

「全国大学政策フォーラム、昨年」に続き入賞

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。

また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

「ひと・まち・であう」プロジェクトは2010年6月に発足し、枚方キャンパス周辺地域の菅原東校区と京都府南山村村において、まちづくり活動を行っています。前者との関わりでは、「安全安心マップ」の作成や「校区体育祭・夏祭り」への参加、ならびに土曜日の児童育成事業「てらこや友遊」の企画運営などを通じ、地域の人と密接な信頼関係を構築しています。

また、南山城村との関係では、今夏、2泊3日のフィールドワークを実施し、村民の方々に、「ヨソ者(学生)から見た高尾地区の魅力」というテーマでおこしのアイデアを提案

日ごろの活動に感謝状 守口市福祉協 大学・短大 ボランティア活研

私達、大学・短大のボランティア活動研究会は「奉仕の心、感謝の気持ちを忘れない」を目標に、日々、幅広い年代の方々を対象に、様々なボランティアをしてきました。

そんな中、10月9日に守口市社会福祉協議会が主催の60周年記念福祉大会が行われ、これまでの活動功績が認められ、感謝状をいただくことになりました。今回こうして感謝状をいただいたのは、歴代の先輩の方々をはじめ、今の世代の部員が日々頑張ってきた証なので、受け取った時は本当に嬉しかったです。

最近の活動としては、10月29日に障がいを持った方を対象に行われたスポーツ大会に行きました。当日は誘導や運営協議のサポートしか出来ませんでした。が、会場内はすごい熱気と笑顔で包まれていました。楽しかったです！

今回ほんの一部分の活動しか紹介できませんでしたが、ボランティアの中で生まれる「繋がりを」大切に、これからも今

日ごろの活動に感謝状 守口市福祉協 大学・短大 ボランティア活研

私達、大学・短大のボランティア活動研究会は「奉仕の心、感謝の気持ちを忘れない」を目標に、日々、幅広い年代の方々を対象に、様々なボランティアをしてきました。

そんな中、10月9日に守口市社会福祉協議会が主催の60周年記念福祉大会が行われ、これまでの活動功績が認められ、感謝状をいただくことになりました。今回こうして感謝状をいただいたのは、歴代の先輩の方々をはじめ、今の世代の部員が日々頑張ってきた証なので、受け取った時は本当に嬉しかったです。

最近の活動としては、10月29日に障がいを持った方を対象に行われたスポーツ大会に行きました。当日は誘導や運営協議のサポートしか出来ませんでした。が、会場内はすごい熱気と笑顔で包まれていました。楽しかったです！

今回ほんの一部分の活動しか紹介できませんでしたが、ボランティアの中で生まれる「繋がりを」大切に、これからも今

日ごろの活動に感謝状 守口市福祉協 大学・短大 ボランティア活研

私達、大学・短大のボランティア活動研究会は「奉仕の心、感謝の気持ちを忘れない」を目標に、日々、幅広い年代の方々を対象に、様々なボランティアをしてきました。

そんな中、10月9日に守口市社会福祉協議会が主催の60周年記念福祉大会が行われ、これまでの活動功績が認められ、感謝状をいただくことになりました。今回こうして感謝状をいただいたのは、歴代の先輩の方々をはじめ、今の世代の部員が日々頑張ってきた証なので、受け取った時は本当に嬉しかったです。

最近の活動としては、10月29日に障がいを持った方を対象に行われたスポーツ大会に行きました。当日は誘導や運営協議のサポートしか出来ませんでした。が、会場内はすごい熱気と笑顔で包まれていました。楽しかったです！

今回ほんの一部分の活動しか紹介できませんでしたが、ボランティアの中で生まれる「繋がりを」大切に、これからも今

各地域で施設で演奏活動実施へ 滝井高校吹奏楽部

滝井高校の吹奏楽部は吹奏楽コンクール北地区大会で3年連続金賞を受賞しています。また、コンクール以外にも多くの活動をしています。その中でも地域での演奏活動を積極的にこなっています。

夏の終わりに11月にかけて、今市商店街パレード、京阪OSAKA水上音楽パレードに参加し、船上で演奏する吹奏楽部(10月23日)

また、12月以降にはクリスマスシーズンを迎え、校庭イルミネーション点灯演奏、学校近隣「びよびよクラブ」のみなさんをお招きしての近隣幼稚園園児との演奏や発表、関西医科大学枚方病院、牧病院のヒーリングコンサート、また思育特別支援学校への訪問演奏等近隣の他、いろいろな施設でのふれあい活動を実施することになっています。

週末にどこからか吹奏楽の生演奏が聞こえてきたら滝井の吹奏楽部かもしれません。部員とグローバルの一生懸命のパフォーマンスをこれからも応援して下さい。

(吹奏楽部顧問 瓜生 恭宏)

自然の中で美味しく交流 留学生ら、食べて歓談… 野外センター

10月8日の日曜日、国際大の34人の留学生と一般学生が里山の雰囲気いっぱいの枚方市穂谷バス停に集合し、野外活動センターへ向かいました。まだ紅葉はありませんでしたが、自然の空気を吸い、おしゃべりをしながら目的地に到着。

バーベキューや天ぷらの食材の準備から食事・後片付けまで、ワイワイ賑やかに留学生と

日ごろの活動に感謝状 守口市福祉協 大学・短大 ボランティア活研

私達、大学・短大のボランティア活動研究会は「奉仕の心、感謝の気持ちを忘れない」を目標に、日々、幅広い年代の方々を対象に、様々なボランティアをしてきました。

そんな中、10月9日に守口市社会福祉協議会が主催の60周年記念福祉大会が行われ、これまでの活動功績が認められ、感謝状をいただくことになりました。今回こうして感謝状をいただいたのは、歴代の先輩の方々をはじめ、今の世代の部員が日々頑張ってきた証なので、受け取った時は本当に嬉しかったです。

最近の活動としては、10月29日に障がいを持った方を対象に行われたスポーツ大会に行きました。当日は誘導や運営協議のサポートしか出来ませんでした。が、会場内はすごい熱気と笑顔で包まれていました。楽しかったです！

今回ほんの一部分の活動しか紹介できませんでしたが、ボランティアの中で生まれる「繋がりを」大切に、これからも今

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

ビジネス学部経済ファイナンス学科3年次生(ベトナム) DANG THI HONG SON (ダン ティ ホン ソン)

①金融システム、日本経済史を学びたいです ②大学の教師になりたいです ③読書、料理 ④粘り強いです

現代社会学部情報デザイン学科1年次生(中国) 崔 偉 (サイイ)

①日本の先進の技術。いろいろなアルバイトをやりたい ②日本の貿易の会社で就職したい。あるいは国に帰ってから通訳の仕事をしたい ③スポーツ ④将来の夢のために、いろいろ勉強して、自分を鍛えます

守口留学生別科(タイ) Apirat Ravinantapricha (アピラット ラビナンタプリーチャー)

①日本の音楽が好きなので、ミュージックビジネスを学びたい ②芸能界についての仕事 ③料理やスイーツを作る。日本の音楽を聴く ④この学校は世界の国々の学生がいるので、習慣や性格もちがう。でも、そのおかげで、毎日新しいことがわかって、楽しいです

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと

大学留学生紹介 本学への留学生たち

国際大では、さまざまな国の留学生が学び、在学生たちにとっても異文化を学ぶいい機会となっています。卒業後は、国際大で学んだグローバルマインドを糧に、母国と日本の架け橋となって活躍してくれることでしょう。そんな留学生たちの中から今号では7人を紹介します。

(コメント) ①日本で学びたいこと、やってみたいこと ②将来の夢や目標 ③趣味・特技 ④自己PRやひとこと



中国語検定

準1級に合格

三浦 静さん

大学ビジネス学部経営デザイン学科4年次生

▽難関の日本中国語検定協会中国語検定準1級に合格した。



「スマイル&ヴォイス」このコーナーでは、スポーツや文化活動、資格取得、様々な課外活動で成果をあげた学生たちの喜びの声を紹介する。
就職に活かしたいと日々努力：

インカレ走高跳

6位に入賞

戸谷 真理子さん

陸上競技部・大学人間科学部スポーツ行動学科4年次生



▽女子走高跳で、天皇賜杯日本学生対校選手権大会(日本インカレ)と日本学生個人選手権大会共に6位入賞、さらに西日本インカレ優勝を果たした。

「高校時代は怪我のせいもあり中学時代の記録から1センチ伸びなかったのですが、大学で16

全日本 中学バレー 大和田中が初優勝

大接戦 最後まで粘り抜き

8月17日から地元大阪で行われた第41回全日本中学校バレーボール選手権大会、この記念すべき大会で悲願の初優勝を果たすことができた。

7月に行なわれた大阪大会では決勝で金蘭会中に大逆転負けを喫したものの、準優勝で第60回近畿中学校総合体育大会への出場権を獲得しました。2日前の4強リーグ戦で同じく金蘭会中と対戦し、2-0で勝ったことで心に隙ができてしまったと思いがち。決勝での敗戦でチームの甘さ、弱さを再認識するこ

とができ、この試合をきっかけにチーム全体が厳しさを帯びて戦える集団に生まれ変わり、チームが団結していきつづけるようになりました。「自分を信じて！仲間を信じて！」を合言葉にして緊張感を持って臨んだ近畿大会では2年ぶり6回目の優勝を果たすことができました。

全国大会では、予選、決勝トーナメント2試合を順当に勝ち上がり、準決勝に進みました。前年度優勝校である長野県裾花中との対戦はフルセットの大激戦となり、準決勝にふさわしい好



悲願の初優勝を飾り喜びいっぱいの部員たち

ゲームとなりました。3セット目も終盤に追い上げられる厳しい展開でしたが、最後まであきらめず粘り抜くことができた、まさに大阪大会決勝での貴重な経験が活かされた大きな試合で

した。決勝の安佐南中との対戦では、地元大阪で決勝ができる喜びをかみ締め、「今までお世話になった方々への感謝の気持ちをコートで出し切ろう」と試合に臨みました。序盤はリードされる展開でしたが、落ち着いて試合を展開することができ、3度目の決勝戦の舞台で悲願の全国制覇を果たすことができました。

この優勝に驕ることなく、これから精進していきたいと思

います。生徒の皆さん、保護者の皆さん、多くの先生方、ご支援、温かいご声援ありがとうございました。

(バレーボール部監督 木村 正章)

である北京語は全然違う言葉。中学から神戸中華同文学校で北京語を習い始め、高校、大学では自分で勉強を続け、中国語を活かした就職をしたいと思って検定に挑戦しました。

準1級は、実務に即従事できるぐらいのレベル。検定の受験者は全国で年間約5万人といわれていますが準1級は100人から200人くらいしか受験者がなく、合格率は約10%。特にリスニングは本場と変わらない速さで、頭の中は全部中国語という状態になるくらい集中して勉強しました。

無事に合格し、就職も海外流通関係に決まりました。今後は1級に挑戦し、韓国語や英語も使えるようになりたいです。

国体サッカー

府14年ぶり優勝

齋藤敏子さん

大学人間科学部スポーツ行動学科3年次生

齋藤敏子さん、大阪府代表のユニフォーム姿で。左から齋藤さん、中村さん、中島さん



記念すべき大阪府代表のユニフォーム姿で。左から齋藤さん、中村さん、中島さん

中村さん 大阪は一人一人がしっかりと熱い気持ちを持ち、一試合終わるごとに話し合い、理解しあい日々ステップアップできた素晴らしいチームでした。誰か一人でも抜けてしまえば優勝出来なかったと思います。

中島さん 生まれて初めての全国大会出場が優勝というとても大きな経験が出来て本当に良かったと思います。今後は大学のチームで全国優勝を目指して頑張っていこうと思います。

齋藤さん 自分は全試合ベンチスタートで後半からの出場でした。やっぱり悔しかった。でも、プレー面や精神面でも勉強になることばかりで、成長できたと思います。チームの雰囲気も良くて、もうこのメンバーと一緒にサッカー出来ないと思うと本当に寂しいですが、一生の宝物になりました。

山下さんが大阪府代表に選ばれたのは、地区大会個人戦優勝

大学・短大軟式野球部が、全日本大学軟式野球選手権大会に西

都大学軟式野球連盟代表として

出場を果たした。2年ぶり12回目

の出場。全日本大会は、11月19日

から24日まで熊本県で行われ、本

学は初戦、東京電機大学理工学

部に6対2で快勝。2回戦では、

信州大長野に2対3で惜敗した

が、初戦敗退した一昨年より一段

躍進の手こたえを得た。

同部は、春季リーグ1部で見

事優勝し、通常なら8月の全日

本大会に出場するところだった

が、東日本大震災の影響で大会

は中止に。秋季リーグでは、春

秋連覇を果たすことができず

シーズンは終わるかに思われた

が、全日本連盟が11月に東日本

大震災復興祈念事業として全日

本選手権を開催することを決

定、春季優勝の本学と秋季優勝

の天理大学が争い、勝利した本

学が全日本への切符を得た。

また、春季リーグの活躍に

より、奥田駿選手(国際コミュニ

ニケーション学部国際コミュニ

ニケーション学科4年次生)が

MVP、本塁打王、ベストナインに、瀬井一貴選手(人間科学

部心理コミュニケーション学

科4年次生)、中村晃清選手(同

人間健康科学科3年次生)、新

名大選手(ビジネス学部経営

デザイン学科3年次生)がベス

トナインに選ばれ表彰された。

(軟式野球部顧問 日野 隆生)

大阪府代表で 山下さん大活躍

全日本剣道大会優勝

大和田中学3年の山下史恵梨

さんが、大阪府代表(4人枠)

に選ばれ出場した全日本都道府

県対抗剣道大会。9月18日に舞

洲アリーナで行われ、山下さん

は大阪Aチーム(大阪府はA、

Bの2チームが出場)の次鋒と

してチームに貢献。大会までの

約1カ月間、毎週末を大阪府の

強化練習に費やし努力した成果

を晴れの舞台で思いっきり発揮

してくれました。そして山下さ

んの活躍もあり大阪Aチーム

が、みごと全国優勝！日本の頂

点に輝きました。

山下さんが大阪府代表に選ば

れたのは、地区大会個人戦優勝

大学・短大軟式野球部が、全日

本大学軟式野球選手権大会に西

都大学軟式野球連盟代表として

出場を果たした。2年ぶり12回目

の出場。全日本大会は、11月19日

から24日まで熊本県で行われ、本

学は初戦、東京電機大学理工学

部に6対2で快勝。2回戦では、

信州大長野に2対3で惜敗した

が、初戦敗退した一昨年より一段

躍進の手こたえを得た。同部は、春季リーグ1部で見事優勝し、通常なら8月の全日本大会に出場するところだったが、東日本大震災の影響で大会は中止に。秋季リーグでは、春秋連覇を果たすことができずシーズンは終わるかに思われたが、全日本連盟が11月に東日本大震災復興祈念事業として全日本選手権を開催することを決定、春季優勝の本学と秋季優勝の天理大学が争い、勝利した本学が全日本への切符を得た。また、春季リーグの活躍により、奥田駿選手(国際コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科4年次生)がMVP、本塁打王、ベストナインに、瀬井一貴選手(人間科学部心理コミュニケーション学科4年次生)、中村晃清選手(同人間健康科学科3年次生)、新名大選手(ビジネス学部経営デザイン学科3年次生)がベストナインに選ばれ表彰された。(軟式野球部顧問 日野 隆生)

クラブ活動

(別途記事掲載は省略。敬称略)

大学・短大

ワンダーフォーゲル部

6/25 ラフティング大会保津川

カップ 総合8位

8/28 北山川ラフティング大

会 3位

9/10/11 天竜川ラフティン

大会 6位

女子サッカー部

6/18 春季リーグ(1部) 3位

8/28 全日本選手権大阪大

会 3位

10/15 関西学生女子秋季リーグ

(1部) 兼全日本大学女子選手権

関西大会 5位

女子バレーボール部

5/22 関西大学女子春季リーグ

戦(1部) 3位

7/3 天皇杯皇后杯全日本選手

権大会大阪予選 優勝

6/23 西日本インカレ グルー

プ戦敗退

10/2 関西大学女子秋季リーグ

(1部) 4位

硬式テニス部男子

9/11 関西大学対抗リーグ 男

子(5部) 予選リーグ全勝

10/10 関西大学対抗リーグ(入

替戦) 4部昇格

6/12 インターハイ府予選

会女子フルレ個人 2位 野進

なつき(2)▽3位 眞鍋瑠美(2)

7/29/8/2 インターハイ女

子個人エベ 同フルレ、学校対

抗 出場

吹奏楽部

7/29 大阪府吹奏楽コンクール

北地区大会 金賞

ソフトボール部

8/23/26 近畿私学大会 3位

大和田高校

男子ソフトテニス部

10/29 大阪高校総体団体戦ト

ナメント 5位

女子ソフトテニス部

10/19 大阪新人大大会ブロック予

選 北浦 太田(以上2)

美術部

7/26/31 大阪私学美術

展 テーマ部門賞 石井 歩▽優

秀賞 石井 歩▽北野真穂▽奨励

賞 塚本千尋(以上3)▽北川美

海▽酒匂大輝(以上2)▽堤 ゆ

きは(1)

大和田中学

バレーボール部

8/29 全国都道府県対抗中学大

会府選抜メンバー 林日向子▽松

山明日香(以上3)

9/10 北河内秋季大会優勝(32

季連続32回目)

9/19 大阪私立総体 3位

10/8 大阪秋季総体 ベスト8

10/20/23 全日本中学生選抜強

化合宿(二次) 参加 高野由里加

(3)

11/1/13 全日本中学生日韓交

流戦参加 高野由里加(3)

11/27/12/1 全日本ジュニア

ユース合宿参加 金田修佳▽高野

由里加▽林日向子(以上3)

ソフトテニス部

8/24 大阪私学大会団体 3位

11/6 大阪府インドア大会出

場 滝谷 瀬野(以上2)

女子ソフトテニス部

8/25 大阪私学大会団体 5位

バドミントン部

11/6 大阪私学大会 シングル

準優勝 糸川尚平(3)

美術部

7/26/31 大阪私学美術展 優

秀賞 木下優花▽奨励賞 上野加

奈子▽寺尾葉月▽西田知世(以上

3)▽井田沙霧(2)

生徒の多く「采選択」に満足

滝井高

「高大連携」の取り組み

和泉 修客員教授のデザイン・ビジネス系(オムニバス授業)を受講する滝井高校の生徒たち



進学イメージしやすい 魅力ある学習内容 大学授業科目を履修

滝井高校では、生徒の進路の指向性と併設大学・短大の学部・学科の内容をもとに、高大連携授業として実施可能で、高校の通常授業とは違った魅力をもった分野を5系統に集約し、

3年次に垂直連携科目として開講している。

標準コースの生徒は、「デザイン・ビジネス」「コミュニケーション」「健康科学」の3つの分野(系)から一つを選択、系ごとに複数の履修科目を設定している。大学授業科目としては、系ごとにそれぞれ、「色彩心理学」「国内観光資源」「生活と環境」が用意されている。また、幼児保育進学コースでは「日本の伝統文化と芸術」、体育・吹奏楽コースの体育クラスでは、「人間とスポーツ」がそれぞれ大学授業科目となっている。いずれも3年次後期の開講科目で、生徒は、「科目等履修生」として、一定の成果を修めれば、大学の単位の認定も受けている。

09年度以降は、3年次前期にそれぞれ系に関わりのある先生方が、オムニバス形式で授業を

開講することになった。土曜日に大学の守口キャンパス(一部は枚方キャンパス)で開講、大学の充実した施設を利用することができ、またキャンパスの雰囲気を感じることができ、

10年目迎えたコンピュータ教育

楽しみながら学ぶ

操作も互いに教え合うまでに

幼稚園

日常生活で、情報機器に触れる機会が増え、子どもたちも、苦手意識をもち、触れることが機器を使いこなす第一歩となります。

当園では、2001年10月からコンピュータ教育を導入し、今年度も保育のある土曜日に、年中児、年長児は大学内の施設を利用して、コンピュータ教育を行っています。1人1台パソコン内にあるソフトを使い、マウスの持ち方をはじめ、基本的な操作(出てきたモグ

て、進学についてイメージしやすくなるなど、この制度に魅力を感じている生徒も多い。また内部進学をする生徒の数も、いろいろな特典と相まって増加傾向にある。とくに従来あ

まり興味を示さなかった社会科学分野への進学希望者も増えており、枚方キャンパスのビジネス学部・現代社会学部への内部進学者数も増加してきている。(教務主任 西口 勝美)

初めてパソコンに触れる子ども達は、最初はマウスの持ち方すらおぼつきませんでした。遊びながら繰り返し操作することで理解し、今では互いに教え合う姿までも見られるようになってきました。幼児期は、様々な遊びの経験が積み合って、相互に影響を与えながら発達していきます。コンピュータの操作技術の向上をめざすものではなく、身近な環境の中の一つとして、コンピュータに触れることもひとつの経験と捉え、園の教育目標である「自ら学ぶ意欲」が育っていくよう、今後も取り組んでいきます。(教諭 三角 真希)

世界学生シンポジウム 日本から唯一参加

私達には人を助ける力が...



ヒルトンホテルにおけるシンポジウム開会式にて。パタヤ市長をはじめ多くの来賓も参加して盛大に行われた。左端から松田さん、2人目が郭さん、右端は田口さん

37カ国67大学 講義、熱い討論

世界37カ国、67大学から343人の学生が参加したこのシンポジウムにおいて、人種、宗教、そして国境を越えて私は友情を築くことができ、新しい友達と話し合うことによって、視野を広げ、知識の量を増やしました。シンポジウムでは沢山の素晴らしい講義を聞き、討論をしました。

私は、シンポジウムの活動の一つとして盲学校を訪ね、ボランティアとして一日色々な手伝いをしました。私はそこでの経験を一生忘れることはないでしょう。盲学校の生徒達は目が見えなくても、純粋な心を持ち、彼らの美しい笑顔は暖かい太陽のようで、それは私達の心の奥を照らし、私達に勇気を与えてくれました。

このシンポジウムでわかったことは、若い世代である私達自身も人々を助ける力を持っているということ。そして、心から願えば、諦めずに頑張れば、夢は叶うということがタイでのシンポジウムから学んだ一番大切なことです。そして、1週間をすべて英語で通じたことで自分の英語力を実感でき、もっと頑張りたいと思いました。(E.S.S.、ビジネス学部経済ファイナンス学科 3年次生 郭 嬌然(カク エンゼン))



1人1台のパソコンで楽しみながら学ぶ園児たち

GTEC 英語力の向上校に認定

大和町 生徒の日々の努力で

英語検定・GTEC for STUDENTS(以下、GTEC)が、2010年度「GTEC英語力向上校」に認定された。該当学年は、高校3年生(2010年度高校2年生)。「GTEC英語力向上校」とは、学年平均のGTECトータルスコアが、2009年度から2010年度にかけて60以上伸びた学校。全国の平均的な1年間のGTECトータルスコアの伸びは35~40程度である。都度の受検で100人以上、かつ1

この結果は、英語科教員の日々の指導と、生徒の努力の結果であり、大和町高校の英語力が伸びている証として、教員、生徒ともに非常に喜ばしく受けとめられている。「今後の英語教育におおし力を入れていきたい」と教員一同決意を新たにしている。

- 7月➡ 短大 ライフデザイン総合学 科「地域共催イベント」 大和町 高2修学旅行(北海道、シガポール・マレーシア) 大・短 防災訓練 大・短 京都府警察特別講演会 大学 スポーツ行動学科「セミナー」対抗スポーツ大会 大和町 中1、2林間学舎 大学 スポーツ行動学科 守口支援学校の子どもたちとプール活動 大和町 高3学習合宿 大学 スポーツ行動学科 サマースクール 大学 法律政策学科生が消防署業務一日体験 大和町 高2学習合宿 大和町 中3学習合宿 大・短 枚方まつり「がんばろう日本」絆プロジェクトに協力 学園 Blossom Concert 大和町 中1イングリッシュセミナー 滝井高 卒業生の川原里依子さん(07卒)CDデビュー 大和町 高校コーラス大会 大学 法律政策学科 京都府務所見学 大学 情報デザイン学科も のづくり合宿 大・短 台風12号による被害に対する義捐金募集 幼稚園 入園説明会 大和町 豪ジローングラマー スクール生徒発表会 大・短 キャンパスライフフリリエイターAED講習会 大学 教養講座 大・短 女子サッカー部が東日本大震災被災者のための義援金募金活動 滝井高 卒業生の森 和代選手、全日本女子バレー登録メンバーに追加 大・短 仏エセック経済商科大学院大学生とボウリング大会 大学 第5回朝市 大・短 ベトナム・ホンバン国際大学学長一行が来校 大・短 「もりぐちeセミナー」共催 大・短 日本語 英語スピーチコンテスト 滝井高 カナダIEウェルドン高校生来校 大和町 小学4~6年生を対象 ハロウィンパーティー

Webサイトへアクセス主流

パソコンや携帯電話で

最新情報で受験直結に狙い

大学選びの手がかりとして、まず受験生は大学案内を請求することから始まります。以前は受験雑誌に付いている資料請求ハガキに記入し、切手を貼って大学へ請求したものが、今やパソコンや携帯電話を使って、受験雑誌のWebサイトや大学の公式ホームページへアクセスし、資料請求しているのが主流となっています。

大学・短大入試資料

本学では大学・短大合わせて年間1万5千件の新規資料請求者があり、前年度・前々年度からのリピーターもあわせると最終的に年度末には3学年総合計2万5千件の資料請求者となります。このうち、1万2千件は本学ホームページへアクセスし、

資料を請求してきており、本学に継続的に興味や関心を持つてもらっている受験生が多く存在している証と考えています。このホームページからの資料請求者は、推薦入試を考え始める9月から増加し、1月の一般入試直前まで続くことから、大

入試日程・募集要項等の最新情報は、公式サイトでご確認下さい。

オープンキャンパス評価上々



学生スタッフの笑顔でお迎えする大学・短大オープンキャンパス

大学・短大

3月24日(土)開催 春のオープンキャンパス

3月24日(土)に春のオープンキャンパスを実施します。あと数日で新3年生を迎える高校生にとって、本格的な進学先選びをする第一歩となるイベント。

この春のオープンキャンパスでは、枚方キャンパスの4学科も守口キャンパスに集まるの

本学の全学科一堂に参集

守口キャンパスで

で、一度で本学の全ての学科を見ることのできる唯一のイベントになります。この機会に足を運んでいただき、本学の「幅広い学びがある」というスケールメリットと学生の活き活きとした元気な姿をぜひご覧ください。

「ジョブサポート」活躍

大学・短大では、6月から9月にかけて夏のオープンキャンパスを今年も昨年度に引き続き、両キャンパスで同日開催という形で実施した。昨年の数はやや下回ったものの、延べ2,331人が来場した。

イベントの雰囲気としては、守口キャンパスでは、受付付近にいるジョブサポート(以下、「JS」)の学生が、訪れた来場者を丁寧に招き入れる。そして、コンシェルジュブースにいる「JS」の学生が、来場者一人ひとりの興味・関心に応じたイベントを紹介。別の「JS」の学生が来場者を案内し、本館に着くと、そこには各学科が趣向を凝らした多彩な企画が用意されており、来場者の興味・関心を注いでいた。

体験講座や学校紹介 在校生が中心に应对...

滝井高

本年度のオープンスクールは、8月27日と10月1日の両日開催し、合わせて400人を超え



親しみやすさと生の声が中学生に好評。在校生による「何でも相談コーナー」

る中学生と保護者の参加があった。今年には体験講座に加え在校生が学校紹介をしたり、中学生の相談に応じたり、生徒が中心となって実施し、参加した中学生や保護

来場者の満足度も最高

枚方キャンパスでも同様に、「JS」の学生たちが、訪れた来場者の一人ひとりに対して丁寧に対応し、評判は上々であった。今年は何年以上に来場者の満

大和田高校の「オープンスクール」は、9月17日に開催。吹奏楽部の演奏によるオープニングが始まり、体験学習では各教科の「入試対策講座」「クラブ活動体験」「手作り花火体験」などのイベントで、在校生とも交流しながら楽しい時間を過ごしていた。この日は雨天にもかかわらず、昨年を大きく上

入試対策講座等 昨年大きく上回る来場者



大和田高校オープンスクール「入試対策講座 数学」に熱心に取り組む生徒達

足度が高く、コンセプトである「Active Students」に恥じない、本学の学生の魅力を伝える

ことができた、そういうオープンキャンパスであった。(入試・広報部 前河 泰正)

大和田高

続いて、10月30日には「入試説明会」を実施した。入試説明会には196組の生徒・保護者が参加し、メモリアルホールで学校の概要や来年度入試の説明をした。その後さまざまな施設を案内、クラブ活動の様子を見学したり入試相談しながら、学校の雰囲気を感じていただいた。

大和田中 児童と保護者 楽しく参加

大和田中学の「オープンスクール」は、7月23日に開催。54組の児童と保護者が参加、吹奏楽部の演奏によるオープニ



大和田中学オープンスクールで小学生たちが理科実験で楽しんでいる様子

ング、「パソコン体験」「手作り花火体験」「ペーパークラフト(バタバタ飛行機)作り」「クラブ活動体験」などで、在校生とも交流しながら和気あいあいと楽しんだ。

続いて、10月には来年度の入試を見据えて「体験学習会」と「入試説明会」を実施した。体験学習会には37組の児童・保護者が参加し、国語・算数の過去問解説を熱心な姿勢で聞いていた。また、入試説明会には73組の児童・保護者が参加した。保護者の方々は学校の概要や入試説明をしたり、在校生が学校案内をするなど生徒の姿を見ていただいた。並行して、国語・算数・理科のプレテストを実施し、問題に懸命に取り組んでいる姿が印象的であった。(募集広報主任 鈴木 衛)

BOOK

◆新刊 国際大・短大
○『経営工学の実践—現場からの革新はこうする—』 経営デザイン教授 石井康夫 共著 中央経済社

○『京都府の歴史散歩(上・中・下巻)』国際コミ教授 杉原和雄 共編著 山川出版社
○『邪馬台国時代の丹波・丹後・但馬と大和』国際コミ教授 杉原和雄 共著 学生社

○『現代社会と経営』経営デザイン准教授 日野隆生 共著 ニシタ出版
○『マーケティング戦略』経営デザイン准教授 日野隆生 共著 学文社
○『ソーシャルベンチャーの理論と実践』経営デザイン准教授 日野隆生 共著 エコハ出版

○『最新マーケティング戦略の基本がよくわかる本』国際コミ教授 宮崎哲也 著 秀和システム
○『フライリップ・コトラ』のソーシャル・マーケティングがわかる本』国際コミ教授 宮崎哲也 著 秀和システム
○『スポーツマーケティング入門』国際コミ教授 宮崎哲也 監修 久保田正義 著 秀和システム
○『成功法則は知ってるけど、長続きしなかった人が読む本』(電子書籍) 国際コミ教授 宮崎哲也 著 カルチュレード

○『オタク文化』の諸相—クール・ジャパンの現状と国際化— 情報デザイン教授 山本勇次 編著 大阪国際大学国際関係研究所
○『政治概念の歴史の展開 第四巻』法律政策教授 古賀敬太 編著 見洋書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『エッセンシャル・ビジネス法務』法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

○『チュウキスにまつわる17のお話たち』滝井高校職員 橋本喬木(光央) 著 信光印刷株式会社出版部

○『エッセンシャル・ビジネス法務』法律政策准教授 安保克也 共著 芦書房

就職環境改善の兆し



本学主催の企業セミナーの様子。熱心に説明に聞き入る学生たち

23年度の間接報告 キャリアセンター

支援体制 更に強化 マッチング 最新情報流す

大学・短大

景気が底を脱しつつあった平成23年3月11日、東北地方を襲った大震災は今年こそ回復するであろうという期待があった新卒の就職環境も完全に元に戻ってしまった感があります。日本経済を支えた製造業の生産力が落ち、結果として多くの業種で景気回復の見通しが立つまでは採用を控える企業が多くなっています。

各種支援制度など説明 セミナー担任 個別面談も

セミナー担任 個別面談も

大学・短大
保護者懇

大学の平成23年10月末の就職内定者は大学164人、短大55人で、大学、短大とも内定者は減少しています。就職率は大学が19.9%（昨年比マイナス0.2ポイント）、短大が18.3%（昨年比マイナス0.3ポイント）です。就職率の低下は、就職活動の停滞や、求職者の増加によるものと考えられています。就職活動の停滞は、景気の悪化による企業側の採用意欲の低下や、求職者の増加による競争の激化によるものと考えられています。就職活動の停滞は、景気の悪化による企業側の採用意欲の低下や、求職者の増加による競争の激化によるものと考えられています。



各ブースでは、教職員が保護者の方々からの様々な相談に応じた(枚方キャンパス)

野村證券株式会社
大学国際コミュニケーション学部
3年次生
松尾 淑子
わずか5日間という短い期間のインターンシップでしたが、充実した日々でした。株式債券、投資信託など証券会社の基礎を教わり、普段ではめったに行きにくい大阪証券取引所も見学することができました。

インターンシップ体験記

大学

とができました。また働くとは、挫折も経験するし、理不尽なこともたくさんあるというのを、社員の方からアドバイスをいただきました。就職活動は、自分より印象に残っていること、自分のために働くのではなく、会社のために働くということ、自分のためになるということ、ということ。私も会社のため

習得した事、就活に活かす

大学・短大で9月、保護者懇談会が開催され、大学枚方キャンパスは18日に119組、大学守口キャンパスは24日に91組、短大は10日に39組、計249組の参加があった。大学生の保護者対象には5月21日に就職説明会が実施され、9月の懇談会では就職関連だけでなく各種支援制度の説明や事務局各部の相談ブース、セミナー担任による個別面談などで、成績や授業の出席状況など細かな面談を行った。また、枚方キャンパスの懇談会では、キャリアセンターに

最終後のアンケートでは、「大学生活の過ごし方、就活の仕方、手順がより理解できた」「初めて懇談会に出席して、親と子供と話をした」「応援の声をいただき、同時に、特に就職についての情報やサポートに期待する意見・要望が多く集まった。次年度も、より内容を充実し、保護者の方々の期待に応えられる懇談会を目指す。

お客様のニーズ獲得に全力

営業活動では、在学生に学んだコミュニケーション能力を生かして、いかにお客様

卒業生たちは今

日産大阪販売KK福島店
大阪国際大学
人間科学部 人間健康
科学科06年卒
山川 裕美(旧姓 榎塚)
車の「く」の字も知らない私でしたが、キャリアセンターに足を運ぶ中、私の性格や仕事への考えを見抜いていただいたの、大丈夫！と日産大阪販売(株)で、営業として入社することを勧めていただきました。



ショールームにて。お客様目線が心がけ日々努力の山川さん

作家・作品解説
本学学生が執筆
守口市現代南画美術館
定國 通雄

守口キャンパスから3駅先、京阪電車の西三荘駅から南へ徒歩15分の所にある守口市現代南画美術館は、現代の水墨画作品を専門に収蔵・展示する、日本で唯一の美術館です。このたび、所蔵名品展「自然への讃歌」が10月26日から12月17日まで、国際大の特別協力によって開催されました。

学園広報 Review

学園設置の各学校からは、印刷物やインターネットで様々な情報が発信されています。「学園広報 Review」では、それらの中からいくつかをご紹介します。

大学・短大 特設サイト

『東日本大震災復興支援の取り組み』

6月、大学・短大公式サイトの中に開設した。被災状況を世界中に発信し、義援金を募る学生の取り組み「Tree of The Global Mind」や、大学としての活動を一覧できるサイトで、英語版 (= 写真) も用意している。

<http://www.oiu.ac.jp/shien/>

滝井高校

『Takii Life』

フルカラーで生徒たちのいきいきとした高校生活を学校内外に伝える広報誌で年3回発行。在校生や保護者の他、中学校関係者にも好評で、創刊5年目を迎えた。10月に発行された最新刊では、滝井フェスタや修学旅行、海外研修の報告、クラブの活躍などが掲載されている。



ひと

目を通して社会貢献 39歳でビジョンメガネ 社長に就任した 大阪国際大5期生 安東 晃一さん

「グッドアイ コミュニケーション(Good Eye Communication)」のCMで知られるビジョンメガネの社長に2011年7月に就任した。大阪国際大経営情報学部5期生である。大阪・淡路の小売店からスタートした同社の35周年目で、生え抜きの社員では初めて約800人の社員のトップに立った。

大学の思い出は、パソコンとサッカー部の活動が印象に残っている。入学と同時に学生一人ひとりがノートパソコンを持つことを義務付けられた。当時、パソコンは普及し始めたころで、画面はモニターで大きく重かった。しかし、他の大学ではみられなかったため、「新しいことに挑戦する気概を感じましたね」。高校からサッカーのディフェンスをやっていた、サッカー部に入ったが、連盟に未加入で、公式の試合に出られない。2年になって認められ、4部リーグで1位の大阪学院大に勝った。「うれしかったですね。新しい大学の力を示せたと思います」。



今から500年程前、イタリアのフロレンスはヨーロッパでは最も繁栄した都市国家でした。支配者であったメディチ家の当主、「さらびやかな人」というあだ名を持つロレンツォは、大金持ちであると共に、したたかな政治家で、又優れた詩

直言 青春はうるはし されどはかなし

栄光時計株式会社
代表取締役会長 小谷 年司

人でした。この題はその人が、お祭りの為に書いた詩の始まりです。

「若いということ、何と素晴らしいのだろう。若者たちよ、もしもハッピーになりたいのなら、そうなるんだよ。明日という日は確かではないのだからね」という一種の青春讃歌です。

学者ではなくて、私は一生、中小企業の経営者にすぎませんでしたが、大学のキャンパスをたまたま散歩して、学生たちの姿を見ると、楽しくなり、一方哀しみが心を横切ります。若いことは、いいなあ、あの年に戻られたら、もっと勉強していた

のになあ、という思いにかられます。

「俺たちに明日はない」という映画の題名がありますが、若者の殆どは、こう思って生きています。だから、明日を切望するのは、勉強やスポーツやアルバイトに集中するのも、必要性もあります。明日を切り出す行為です。明日に希望がないという気になったら、今、やらなきゃいけないことに一生懸命になるしかありません。こんなことやっていいのかわ、という疑問を忘れることです。これが学生の希望への特効薬です。

私は、この特効薬をしばしば飲みました。

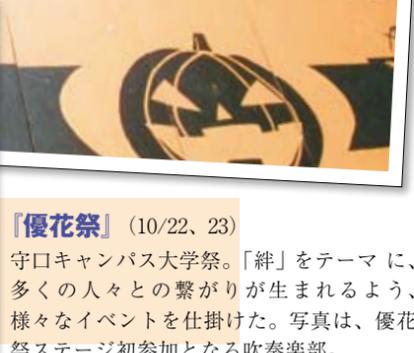
教習所に通えば、運転免許は貰えます。人生の幸福の免許は、実は学校がくれるのです。厄介なこと、この免許証は年をとらないと発効しないのです。その免許を取るには、どうすれば良いでしょうか。それは、学生の間に、やらざれていると感じている事柄に真正面から立ち向かって、これをこなし、苦しみを乗り越える能力を鍛えることではないでしょうか。それが助ける手段として、成績とかテストとか資格が存在するのです。「よく学べ、よく遊べ」に学生時代は尽きます。

GLOBAL MIND イベント写真館

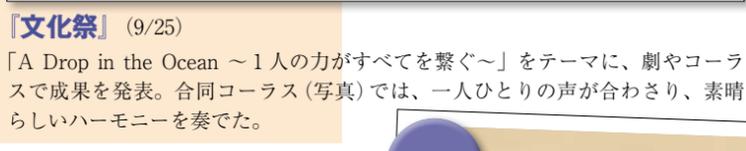
【灯華祭】 (10/29、30)
枚方キャンパス大学祭である灯華祭。今年のテーマ「Fever+Excite=Soul!!!」は、実行委員会の熱狂(Fever)を、来場者の興奮(Excite)と合わせて心(Soul)から楽しめるものとなるようにとの願いを込めた。写真は「ステージイベント」の一コマ。



【優花祭】 (10/22、23)
守口キャンパス大学祭。「絆」をテーマに、多くの人々との繋がりが生まれるよう、様々なイベントを仕掛けた。写真は、優花祭ステージ初参加となる吹奏楽部。



【文化祭】 (9/25)
「A Drop in the Ocean ~1人の力がすべてを繋ぐ~」をテーマに、劇やコーラスで成果を発表。合同コーラス(写真)では、一人ひとりの声が合わさり、素晴らしいハーモニーを奏でた。



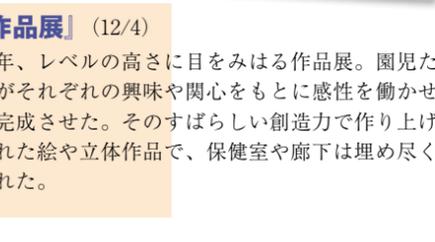
奥田メモリアルフェスティバル
「おしゃべりなコンサート」
～演奏の匠がやってくる～ (11/11)
吉本興業の「ザ・ぼんち」の漫才と司会進行、交響楽団の一流の演奏者によるトークと演奏、滝井高校吹奏楽部との合同演奏で約700人が楽しいひと時を過ごした。来場者から寄せられた東日本大震災・台風12号被災地支援募金180,831円は日本赤十字社等へ送金された。



【グローバル祭】 (9/11)
秋晴れの気持ちのいい日に、模擬店・緑日・展示・舞台と様々な催しに、生徒も教員も普段とはまた違った表情で取り組んだ文化祭。



【作品展】 (12/4)
毎年、レベルの高さに目を見はる作品展。園児たちがそれぞれの興味や関心をもとに感性を働かせて完成させた。そのすばらしい創造力で作り上げられた絵や立体作品で、保健室や廊下は埋め尽くされた。



●本紙に記載の学年、肩書き等はすべて情報収集時のもので、発行時期と異なることがあります。ご了承願います。
●郵送不要の方、住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は総務課までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。

各学校の最新ニュースは公式サイトでご覧いただけます。 大阪国際学園 検索